

具体的な目標値		直近実績値 平成27年度	目標値 平成34年度		
(1) 健康	① 食育に関心を持っている市民の増加				
	1	食育に関心を持っている市民の割合の増加	※1	64.1%	90%以上
	2	食育関連事業数の増加	※2	498件	530件
	② 朝食を欠食する市民の割合の減少				
	3	女性（4か月児の母親）	※3	7.9%	3%以下
	4	男性（20～40歳代の男性）	※1	19.1%	15%以下
	5	子ども（小学5年生）	※4	12.5%	0%
	6	子ども（中学2年生）	※4	14.1%	0%
	③ 自分の体（健康状態）に関心をもつ市民の割合の増加				
	7	主食、主菜、副菜を組合せた食事を心がけている市民の割合の増加	※1	48.2%	60%以上
8	特定健康診査の受診率の増加	※5	34.6%	60%以上	
④ 適正な体重を維持している市民の増加					
9	BMIが25.0を超える40～64歳男性の割合の減少	※5	34.7%	30%以下	
10	BMIが18.5未満の20～39歳女性の割合の減少	※6	21.5%	15%以下	
⑤ 歯を大切にしている市民の増加					
11	大人（歯周病検診の受診率の増加）	※7	5.0%	6%以上	
(2) 環境	① 体験を通して自然の恵みに感謝する・環境に配慮する市民の増加				
	12	環境に配慮した食生活を送っている市民の割合の増加	※1	85.4%	90%以上
	13	農水産業を体験する市民の増加	※2	11,056人	11,600人
	② 学校給食における地場産物を使用する割合の増加				
	14	食材数ベース（市内産・県内産）	※8	24.0%	25%以上
15	食材数ベース（国内産）	※8	73.8% (平成28年6月)	75%以上	
③ 食品の安全性や衛生に関する基礎的な知識や食品を選択する知識を持っている市民の増加					
16	関連事業に参加する市民の増加	※2	11,292人	11,500人	
(3) 伝統	① 食文化や行事食を大切にしている市民の増加				
	17	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数を増やす	※1	8.2回	10回以上
	② 地域の食文化を伝承する市民の増加				
	18	地域や家庭で受け継がれてきた料理や味を伝承している市民の増加	※1	35.2%	50%以上
	③ 食育の推進に関わるボランティア活動に関心のある市民の増加				
19	健康推進員養成講座の年間受講者数の増加		30人	36人	
20	食育の推進に関わるボランティアの増加	※9	2,923人	3,100人	

※1：大津市食生活・食育に関する市民意識調査結果
 ※2：大津市栄養・食に関する取組み状況調査
 ※3：大津市4か月児健診
 ※4：滋賀県学校における「食育の日」実施計画報告書による大津市数値
 ※5：大津市国民健康保険特定健康診査
 ※6：大津市女性健診
 ※7：大津市歯周疾患検診（妊婦歯科検診、節目検診）
 ※8：大津市学校給食地場産物使用状況調査（滋賀県教育委員会調査による）
 ※9：大津市食育の推進に関わるボランティア団体等調査

第3次 いのちをはぐくむ 大津市食育推進計画

- 概要版 -

食べつなぐ

～ 健康・環境・伝統 ～
 （げんきに） （たのしく） （おいしく）



平成29年3月
大津市

大津市健康保険部 保健所衛生課

[TEL] 077-511-9203 [FAX] 077-525-6161 [E-mail] otsu1441@city.otsu.lg.jp

計画策定の趣旨

大津市では、食育基本法に基づき、平成20年4月に大津市食育推進計画、平成24年3月に第2次大津市食育推進計画を策定し、様々な食育に取り組んできました。

しかし、私たちを取り巻く生活環境や意識の変化により、栄養バランスの偏った食習慣に起因する生活習慣病の増加や、過度の痩身傾向に起因する健康障害、核家族化やライフスタイルの多様化に起因する孤食など、私たちだけでなく次世代にも影響を与えない、「食」に関する問題が顕在化しています。

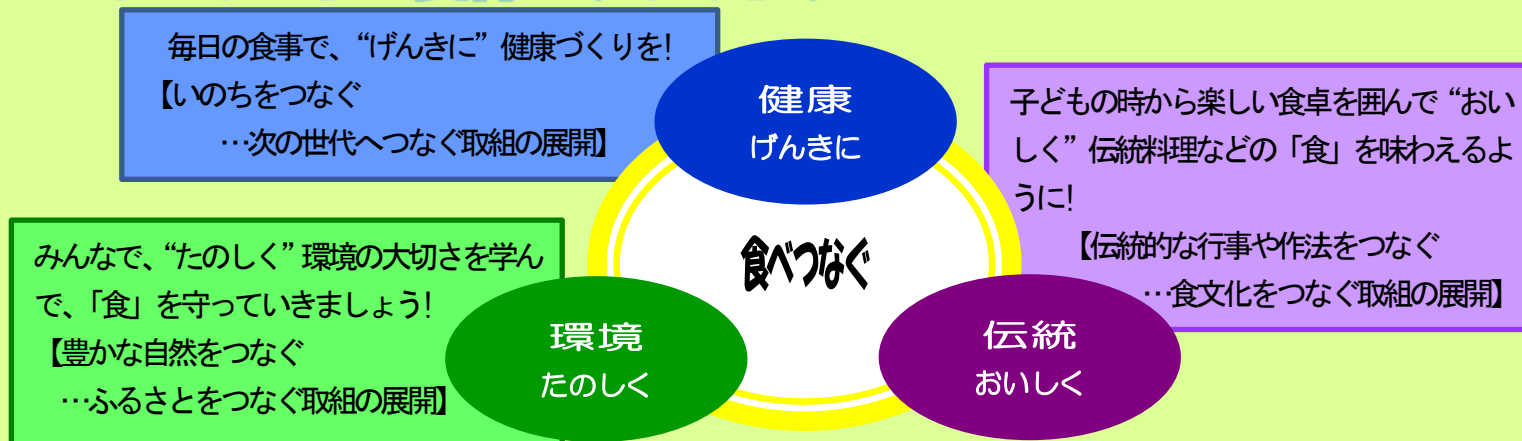
こうした状況を踏まえ、さらに食育の概念や重要性を市民に浸透させるため、家庭、学校、地域等あらゆる場面において食育の推進が図られるよう、「第3次いのちをはぐくむ大津市食育推進計画」を策定しました。

計画期間 平成29年(2017)年度から平成34年(2022)度の6年間

計画の位置づけ

- ・食育基本法第18条第1項に基づく市町村食育推進計画
- ・「健康おおつ21」「大津市保健医療基本計画」「大津市次世代育成支援行動計画 大津っ子子育て応援プラン」「大津ゴールドプラン」などとの整合性を図ります。

計画の目標達成に向けて『健康』『環境』『伝統』の3つの柱をキーワードに食育をすすめます



おぜんちゃん(大津市食育推進キャラクター)

日本型食生活「一汁三菜」をイメージし、誕生したキャラクターです。バランスの良い食事の普及のために、日々活動しています。

【プロフィール】

- 名前 おぜんちゃん
- 年齢 9歳(誕生日 6月19日)
- 仕事 大津市の食育推進PR
- 趣味 料理、家庭菜園
- 大津市生まれ
- 好きな食べ物 小松菜の煮浸し、大津市産青ねぎたっぷりのねぎ焼き



基本理念

市民一人ひとりが、「食」に関する知識と「食」を選択する力を身につけ、健全な食生活を実践することにより、生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育んでいきます。

3つの柱

目指す姿

取組の方向性

健康

- ・朝食を食べ、整った生活リズムがとれる
- ・主食、主菜、副菜のそろった食事がとれる
- ・自分にあった食事の量がわかる
- ・歯を大切にし、しっかり噛んで食べる

(1)健康寿命の延伸を目指す健全な食生活の実践

- ①正しい「食」の知識の普及啓発のための情報提供
- ②望ましい食習慣や知識の習得
- ③生活習慣病の発症予防と重症化予防のための取組
- ④子どもの肥満・やせの予防、高齢者の低栄養予防のための取組
- ⑤歯科保健活動における食育の推進

環境

- ・食べ物の大切さを知り、無駄をしない
- ・大津産のものを積極的に利用する
- ・食の安全に関する正しい知識を持ち、食を選択する力を身につける

(2)食の循環や環境を意識した食生活の実践

- ①農水産物を体験する取組
- ②安全・安心な地元農水産物を確保する取組
- ③食べ残しや食品廃棄を減らす取組
- ④食の安全に関する正しい知識を持ち、「食を選択する力」を身に付けるための取組

伝統

- ・日本食のマナーを知り、実践し、伝えることができる
- ・誰かと一緒に食べるのが楽しいと思える
- ・大津の風土から生まれた伝統食や、農水産物を知っている

(3)食文化の継承に向けた食育の実践

- ①コミュニケーションをとりながら食事をする機会の提供、啓発
- ②郷土料理、行事食等を伝える取組
- ③ボランティア活動を支援する取組

ライフステージごとの『望ましい食生活』を、家庭や地域、関係機関・関係団体で『実践の環(わ)』を広げます